

令和 6 年 6 月 1 0 日

見附市議会議長 様

見附市議会議員 樺澤 直純

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 公共施設の老朽化等について

答弁を求める者 市 長 ・ 教 育 長

今年の夏、2024年7月26日から8月11日まで、第33回オリンピック競技大会がフランス・パリを中心に開催され、パリでの開催は、1900年、1924年に続き3回目となり、本大会では32競技329種目が実施され、今回は新たに追加され注目の競技種目となるブレイキン、1970年代のアメリカ・ニューヨークのサウスブロンクス地区が発祥のストリートダンスで、2018年にブエノスアイレスで開催されたユースオリンピック競技大会で登場し、今回のオリンピックでも実施されることになります。ダンサーである競技選手たちは、DJの選曲する楽曲トラックに様々な技を組み合わせ、即興でダンスの技を繰り出す競技としてメダル獲得を目指します。

このオリンピックでは様々な競技からメダル獲得やドラマがあり、「水泳ニッポン」という言葉なども生まれ、現地やテレビ等の試合観戦により多くの選手から勇気と感動をいただきます。

さて、メダリストの多い競技でもある水泳ですが、古くは会津藩校日新館の水練水馬池で日本最古のプール、水泳授業が馬に乗り行われたとも言われ、学校での授業とした歴史からでは、明治40年に川や海から「命を守る水泳授業」として始まり、昭和30年には「子どもの水難事故多発」や昭和39年の「東京オリンピックに向けて選手育成」の理由等から昭和の時代に各種のプール建設が進んで現在に至ると言われています。

※番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



しかし、昨今では全国的にもプール、水泳に関連した環境や状況が様々な理由を背景として変化してきています。これらの市の施設の関連について、いくつかお尋ねし、当市の見解をお聞きいたします。

1 市内の小、中、特別支援学校での水泳授業について

今年度もしばらくすると各学校では水泳授業が開始されると思いますが、ここ数年の夏の猛暑や数年前はコロナ禍等もあり、各学校教職員の方々は働き方改革とも言われている中で、気温、水温の確認や水質検査等で夏季のプール管理、準備等が大変であると感じます。

- (1) 各学校での水泳授業におけるプール利用状況（児童、生徒 1 人当たりの授業時間等）について、過去からの推移等をお聞かせください。
- (2) 各学校教職員の方々の水泳授業の準備、必要とされる作業の種類と所要時間等をお聞かせください。

2 公共スポーツ施設である市民プール等について

今年度は学校施設の長寿命化計画により見附小学校が部位改修、名木野小学校が大規模改修となり、それ以前の数年前から名木野小学校では水泳授業は市民プールを利用、特別支援学校でも水泳授業は市民プールを利用しています。

- (1) 現在、市民プールでも築 50 年が過ぎ老朽化しているのですが、今後の市民プールの建て替えや改修、または一般利用者の利用率低下等から廃止の検討など、今後どのようにお考えかをお聞かせください。
- (2) 市民プール同様に市内のその他の公共スポーツ施設等も経年から老朽化しているのですが、今後の老朽化対策として予定している施設などについて、お聞かせください。